

梅若新春能

番囃子

翁

翁 梅若 桜雪

千歳 川口 晃平

能 養

老

水波之伝

松山 隆之

鷹尾 章弘

鷹尾 雄紀

狂言 末

広

山本東次郎

山本泰太郎

山本凜太郎



日本 能楽
全国 キャラバン



<https://umewaka.org>

令和五年一月七日（土）
午後一時開演（正午開場）

梅若能楽学院会館

自由席 七、〇〇〇円

翁

翁 梅若 桜雪

千歳 川口 晃平

大鼓 亀井 広忠

大倉 伶士郎 笛

小鼓 大倉源次郎

清水 和音

竹市 学

梅若 英寿

内藤 幸雄

山崎 正道

鷹尾 維教

山崎 友正

狂言

末 広

山本東次郎

山本凜太郎
山本泰太郎

大鼓 亀井 洋佑 太鼓 小寺真佐人

小鼓 大倉伶士郎 笛 竹市 学

仕舞

東 高 北 砂

梅若長左衛門

角当 行雄

地謡

土田 英貴

鷹尾 維教

松山 隆雄

内藤 幸雄

《休憩二十分予定》

養 老

鷹尾 雄紀
鷹尾 章弘
松山 隆之
水波之伝

矢野 昌平 大鼓 亀井 広忠 太鼓 小寺真佐人
福王 和幸 小鼓 田邊 恭資 一笛 竹市 学
村瀬 提

後見 小田切康陽

赤瀬 雅則

地謡

伶以野陽子

小田切亮磨

川口 晃平

山中 迺晶

松山 隆雄

梅若 紀彰

角当 直隆

<JR線>

・総武線・東中野駅西口 徒歩8分

<地下鉄>

・大江戸線 東中野駅 A3出口
・大江戸線 中野坂上駅 A2・2出口
・丸の内線 中野坂上駅 A2・2出口
いずれも徒歩8分

<バス>

- ①関東バス(宿05:中野駅経由) 新宿西口→野方行 宮下交差点下車
- ②関東バス(宿05:中野駅経由) 野方→新宿西口行 東中野2丁目下車
- ③京王バス(渋64:中野坂上経由) 渋谷→中野駅南口行 宮下交差点下車
- ④京王バス(渋64:中野坂上経由) 中野南口→渋谷行 東中野2丁目下車

*当会館は駐車場はございません。ご来場の際は電車、バス等をご利用下さい。

東京都中野区東中野2-6-14
(公財)梅若会
(梅若能楽学院会館)
TEL: 03-3363-7748
FAX: 03-3363-7749



『翁』(おきな)

演目の構成等は全く他の能一般とは違い、演劇としてのあらずじを持たない故に「能にして能にあらず」と称される。天下泰平国土安穩を祈禱する一種の祭典であり、遠く原始猿樂から伝わる舞台の浄めで新年を寿ぐ。(今回は番囃子での上演のため、立ち舞うこと無く、謡と囃子のみにて上演致します。)

『養老水波之伝』(ようろうすいのはのでん)

時の天皇は美濃の本巢郡に湧き出る霊泉の噂を聞き、その霊泉に勅使を遣わす。そこに木こりの老人とその息子が現れ、勅使は霊泉の事を尋ねると、実はその泉を発見した親子であった。木こりの息子は毎日山で薪を取り老親を養う孝行な息子で、ある時山路で飲んだ仙家の薬のような泉の水を汲んで持ち帰り、老父母に飲ませると見違える程元気になり、若々しくなった。それでこの泉を養老の滝と名付けたと老人は語り、勅使を滝へ案内し仙薬の水を汲み讃える。この話を聞いた勅使が感激していると、どこからか美しい音楽と共に山神が姿を現す。山神は薬の泉を讃え神仏の徳を語ると天下泰平の世を祝し壮快な舞を舞い示す。(今回は後ツレ(楊柳観音)が登場し、後シテの舞も常と異なる特殊演出、水波之伝にて上演致します。)

【観能チケットとお願い】

- ◆自由席 7,000円・正面指定料別途 1,000円(指定のご希望は公演1週間前までお申し込み下さい)
 - ◆チケットは梅若会 HP からメールまたは電話、ファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上お申し込み下さい。(https://umewaka.org/ TEL 03-3363-7748 (不定休)・FAX 03-3363-7749)
 - ◆都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。
 - ◆当日のクローケ(荷物お預かり)は閉鎖させていただきます。
 - ◆梅若会の感染予防対策の取り組み内容
当能楽堂内は株式会社松美家様のご協力により、光触媒(抗菌)コーティング加工済みですので安心してご観能下さい。
 - ◆観能に際してのお願い
入館時における検温・消毒、個人情報の提出にご協力下さい。他のお客様へのご配慮として、マスク等の着用をお願い致します。また、お客様ご自身による健康管理をよろしくごお願い申し上げます。
- ※個人情報 は チケット裏面にご記入頂きます。

